

JA Kinan Community Paper

PRISM

2022.8/11
vol.53



JA紀南



〒646-0027 和歌山県田辺市朝日ヶ丘24-17

TEL : 0739-23-3450 FAX : 0739-23-3451

URL : <https://www.ja-kinan.or.jp>

E-mail : info@ja-kinan.or.jp



Instagram UMEPPL.MIHAKKI

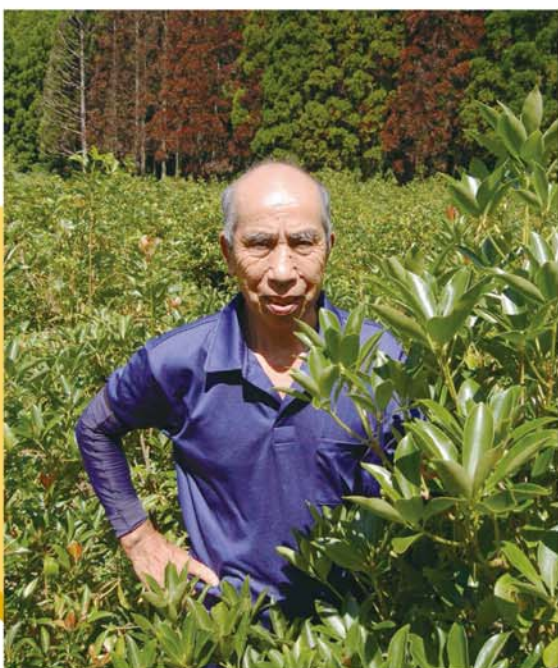


自然豊かな中山間地域で栽培され、つややかな緑色がまぶしいシキミ。盆や彼岸が出荷ピークとなる。

紀南風物

シキミ

シキミ生産者



しみず たけし
清水 武さん(77)

田辺市平瀬

風通しをよくすることが大事
シキミを栽培して27年。紋日に合わせて年4回の大きな出荷があり、7月20日からは、春に出た芽をお盆用として収穫しました。
栽培においては、こまめに枝を切って風通しをよくすることが大事。大敵は山芋やカズラなどのツル性植物で、巻き付かれると枝が変形してしまうため、早めに発見して曲がった枝はすぐに切り落とさなければなりません。
地域が高齢化し人手が少なくなっています。今年も市場の要望に応えられるよう、精いっぱい品質向上に努めたいと思います。

ワンポイント

ご先祖さまをお迎えしましょう

■お盆とは？

お盆は仏教行事の「盂蘭盆(うらぼん)」を略したもので、お釈迦様の教えで祖先を死後の苦しみから救うために行われるようになったのがはじまりといわれています。一般的には墓参りをしたり、迎え火をたき、お坊さんに仏壇前でお経をあげてもらい、野菜や果物などのお供え物で先祖の霊をもてなし、送り火をたいて帰路の無事を祈るというものです。



■「シキミ」が仏事によく使われるのはなぜ？

土葬の時代から魔除けや動物除けとして墓の周囲に植えられることが多かったというシキミ。防腐作用等で枝葉が供花に適しているほか、樹皮は線香に、木部は念珠にと広く仏事と関わることも関係しているかもしれません。

独特の香りを持つ常緑樹

「紀の国」が「木の国」を由来とするように、豊かな森に囲まれた和歌山県は、全国的にも「シキミ」や「サカキ」といった花木の栽培が盛んです。JA紀南の管内では中山間地域を中心に、およそ100軒で生産されています。
お盆を目前に控えた今回は、そんな花木の中から、仏花として古くから浸透する「シキミ」をピックアップします。
シキミは独特の香りを持つ常緑樹で、白いハスのような花をつけ、枝葉は墓前や仏前にお供えされることなどから「ハナノキ(花の木)」「コウノキ(香の木)」とも呼ばれています。防腐作用を持ち、花立ての水をきれいに保つ効果もあるとされています。
ご先祖様とやすらかなひと時を過ごせますように。JA紀南のフアーマーズマーケット紀菜柑では花き・花木を豊富に取り揃えていますので、ぜひご来店ください。